事業シート（令和9年度予算）

事業名	20400　秘書事務費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	
					款	2	総務費			ポイント				
担当課	市長公室　秘書交流課	内線	2406		項	1	総務管理費		分野別	政策分野			市長公約	
					目	4	秘書費			施策分野				

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・市長、副市長のトップセールスや要望活動により、市の発展や活性化を図る。 ・市長、副市長の市民等との面談、各種団体の行事等への出席により、多くの要望や意見を収集し、市政に反映させる。 ・市長、副市長を含む幹部会等の庁内会議の開催により、円滑な行財政運営を図る。	概要	市長、副市長の適正なスケジュール調整と管理による ・トップセールス、要望活動の実施 ・市民等との面談、各種団体の行事等への出席 ・庁内会議等の開催

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		18,189	13,341	15,000			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（　　）						
一般財源		18,189	13,341	15,000			
新規・拡充	主な事業内容						
	秘書業務及び交際、渉外等に関する事務	17,689	13,341	15,000			
	東海市長会通常総会の開催	500	0				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	増減 (d)-(c)
19,680			4,680
19,680			4,680

要求額	説明
19,680	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・要望活動の実施 ・市民等との面談、各種団体の行事等への出席 ・庁内会議等の開催などのための適正なスケジュール調整と管理 ・面談人数（年間）　1,966人 ・東海市長会議を当市で開催	
評価等	・市民・各種団体からの要望や意見、情報とともに、自治体経営のトップの考えを組織内（職員）に的確に周知し、迅速かつ効果的に市政に反映させる必要がある。	
次年度以降の考え方（担当課）	・市長・副市長の円滑な日程調整を行うとともに、政策秘書の視点によるトップマネジメントの補佐を行う。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	20940　東京事務所運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	
					款	2	総務費			ポイント				
担当課	市長公室　東京事務所	内線	2406		項	1	総務管理費		分野別	政策分野			市長公約	
					目	9	企画費			施策分野				

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・首都圏における日常的な活動拠点の確保、情報収集・発信機能の強化を図る。 ・国内外での地場産品の販路拡大、飛騨高山ブランドの強化を図る。	概要	・東京事務所を設置し、府省や関係団体等との連絡調整を行うほか、情報収集及びシティセールスその他の市政推進に資する活動を行う。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		8,740	7,277	9,140			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（職員派遣事業雑入）	672	720	720			
一般財源		8,068	6,557	8,420			
新規・拡充	主な事業内容						
	運営費	4,540	3,077	4,940			
	政策顧問の設置	4,200	4,200	4,200			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 8,800 増減 (d)-(c)
9,140			0
720			0
8,420			0
要求額	説明		
4,940			
4,200			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・誘客促進関係 　イベントでの誘客PR（2件）、メディアでの情報発信（12件）、市内旅行事業者の首都圏活動支援など ・物販支援関係 　新規販路開拓（14件）、販路開拓支援など ・交流促進関係 　千代田区相互連携協定に基づく事業調整（5件）、移住相談、在京の飛騨地域出身者との人脈拡大など ・市担当課業務支援 　各課の首都圏業務の支援（146件）、戦略派遣職員の業務支援など ・政策顧問 　ブランド戦略・行政改革・地方創生等の重要政策推進に関する市長・関係部署等への指導や助言、人脈の仲介や情報収集など（延べ94回）	
評価等	・職員が東京に駐在することの時間的・場所的な優位性を活かし、市の様々な担当課と連携し主体的かつ機動的に各種営業を行うことで成果を上げるとともに、市担当課の首都圏業務の連絡調整窓口として幅広く機能した。 ・政策顧問は、高度な知見を活かして各種施策に適切な助言を行い、効果的な施策展開を促すとともに、豊富な人脈を活かして国・関係機関・民間との橋渡し役として各種調整を担っていただいた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・東京事務所を拠点とし、首都圏側と地域側双方の多様な主体との連携・協働により、首都圏における飛騨高山ブランドの発信など各種取り組みを推進する。 ・経営資源（人、情報）を効果的に各種施策に活用する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	21020　都市交流促進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	2	総務費			ポイント	(1)	自分らしく充実して暮らせる環境づくり		
担当課	市長公室　秘書交流課	内線	2414		項	1	総務管理費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	
					目	10	市民活動推進費			施策分野	(6)	交流		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・国内の姉妹友好都市（長野県松本市、神奈川県平塚市、福井県越前市、山形県上山市）との交流を推進する。	概要	・高山市都市提携委員会を中心とした交流事業の実施

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「国内外の都市と様々な分野において交流が進んでいる」と感じている市民の割合	54.4%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		1,140	952	1,140			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（　　）						
一般財源		1,140	952	1,140			

新規・拡充	主な事業内容						
	高山市都市提携委員会の運営に対する助成	900	900	900			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	1,200 増減 (d)-(c)
1,140			0
1,140			0

要求額	説明
900	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・松本市への市民ツアーの実施（77人参加） ・平塚市とのこどもスノー交流の実施（平塚市16人、高山市16人参加）	
評価等	・姉妹友好都市への市民ツアーやこどもの交流などにより、友好交流を深めることができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・市民レベルでのまちづくりや経済、文化面等での交流を促進する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	21510　国際交流事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	2	総務費			ポイント	(1)	自分らしく充実して暮らせる環境づくり		
					項	1	総務管理費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	
担当課	市長公室　秘書交流課	内線	2414		目	16	国際交流費			施策分野	(6)	交流		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・異文化への理解を深め、広い視野を持った人材を育成するため、都市間交流や異文化に接する機会の提供などにより、海外との交流を推進する。	概要	・海外の姉妹友好都市等との教育・文化・芸術・産業等の様々な分野における交流 ・市民海外派遣や英語スピーチコンテスト、外国語講座の開催など ・市民と在住・来訪外国人との交流促進 ・国際交流員の招致や民間交流団体への支援などによる異文化に接する機会の提供

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
外国人相談窓口での相談件数	103件		↗
市民外国語講座の受講者数	286人		↗
高山市多文化共生SNSフォロワー数	261人		↗
多文化共生関連行事等への参加者数	2,464人		↗
「国内外の都市と様々な分野において交流が進んでいる」と感じている市民の割合	54.4%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		29,305	25,376	26,460			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　多文化共生推進補助金 1/2　）	360	346	50			
	その他（　飛騨高山ふるさと基金繰入金、外国青年招致事業雑入 等　）	2,120	2,169	415			
一般財源		26,825	22,861	25,995			
新規・拡充	主な事業内容						
	市民海外派遣	13,800	13,682	13,920			
	外国青年国際交流員招致	1,838	811	1,796			
	国際交流団体への支援	1,830	2,100	5,430			
	外国人相談窓口の設置	290	264	290			
	多文化共生推進事業	1,030	1,158	1,604			
	海外友好都市等自治体職員研修受け入れ	3,317	2,945				
	デンバー市姉妹都市提携65周年記念事業	2,250	2,279				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	23,500 増減 (d)-(c)
21,332			△ 5,128
50			0
120			△ 295
21,162			△ 4,833
要求額	説明		
14,220			
1,847			
1,230			
310			
875			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・デンバー市との姉妹都市提携65周年を記念した市民ツアー等の実施 ・シビウ市親善訪問団の受入と中学校での講演会の開催 ・市民海外派遣事業の実施（アメリカ・デンバー市、中高生20人） ・海外友好都市の自治体職員研修員（1人）の受入 ・外国青年国際交流員（1人）の招致 ・市民外国語・日本語講座の実施（4言語14講座、受講者数286人） ・多文化共生Facebookページ「HIDA TAKAYAMA TOGETHER」の運用 ・外国人相談窓口の運営 ・やさしい日本語講座の開催（2回） ・在住外国人のための生活オリエンテーション動画の制作	
評価等	・姉妹友好都市等との都市間交流により、友好交流を深めることができた。 ・市民海外派遣事業を実施し、中高生を姉妹都市のデンバー市に派遣し、ホームステイなどの体験や交流を通して次代を担う人材を育成することができた。 ・外国人相談窓口の周知を行い、在住外国人等の困りごとに寄り添った対応を行うことができた。 ・在住外国人とのコミュニケーションに有効とされている「やさしい日本語」の普及や、在住外国人のための生活オリエンテーション動画の制作などにより、多文化共生の取り組みを行うことができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・姉妹友好都市等との友好交流を推進する。 ・国際理解の高揚を図り、幅広い知識を持った国際人及び次代を担う人材を育成する。 ・国籍や民族などの異なる人々が互いの文化を認め合い、理解を深めながら共存できるよう多文化共生の取り組みを推進する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	